

2024年9月9日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ  
三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
株式会社三菱UFJ銀行

## 資産運用ビジネスに係るグループ内での投資機能の移転について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規<sup>かめざわ ひろのり</sup>、以下 MUFG）、三菱UFJアセットマネジメント株式会社（取締役社長 横川 直<sup>よこかわ すなお</sup>、以下 三菱UFJアセットマネジメント）、三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 長島 巖<sup>ながしま いわお</sup>、以下 三菱UFJ信託銀行）および株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一<sup>はんざわ じゅんいち</sup>、以下 三菱UFJ銀行）は、2024年1月15日付「三菱UFJフィナンシャル・グループの資産運用ビジネスの取り組みについて」<sup>[1]</sup>で公表しました通り、グループ内で、クレジット領域の投資機能を一部移転致します。

### 1. 取組内容

グローバルな政治情勢・経済の不確実性の高まり等を受け、これまで投資の中心を占めていた株式や債券といった伝統的資産からの運用ニーズの多様化が進んでいます。

このような中、MUFGでは、三菱UFJ信託銀行と三菱UFJ銀行（市場事業本部）で長年培ってきたクレジット投資に係るケイパビリティを、グループにおける資産運用の中核会社である三菱UFJアセットマネジメント（受託財産事業本部）に移転致します。

三菱UFJアセットマネジメントは、お客さまを中心とした幅広いステークホルダーからの信頼をより一層得られる資産運用会社となるために、運用ケイパビリティの拡充に取り組んでいます。今回の機能移転は、証券化商品（CLO・不動産担保付ローンファンド<sup>[2]</sup>）などクレジット領域での投資助言態勢を整備するとともに、将来的な投資助言の対象拡大や投資一任への機能拡張も視野に入れたものです。こうした取組を通じ、お客さまにさらに多様な商品・サービスを提供することで、資産運用立国の実現に貢献してまいります。

### 2. 組織の新設

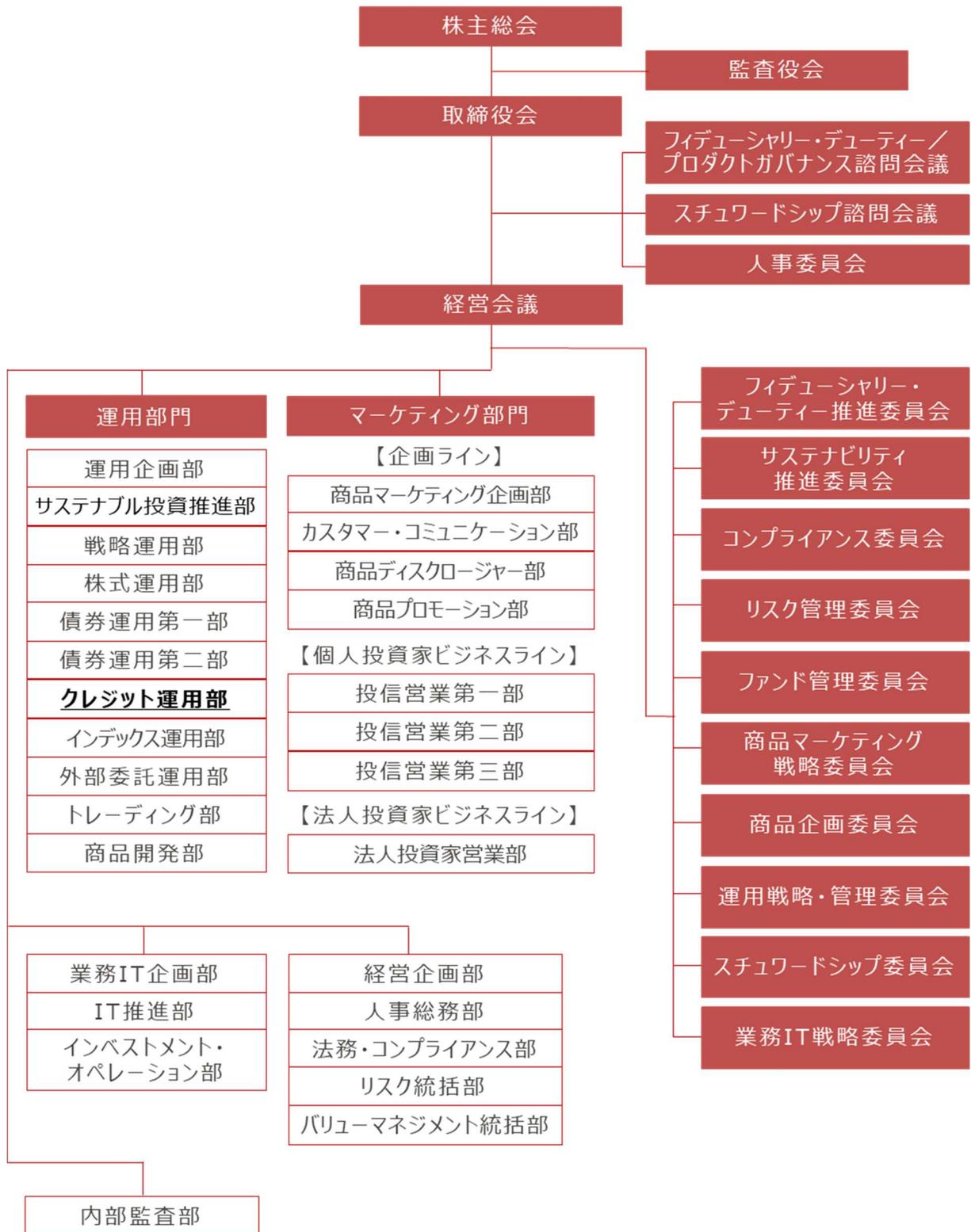
三菱UFJアセットマネジメントは、今回の機能移転に伴い、クレジット投資に係る専担組織であるクレジット運用部を2024年10月1日に新設致します。

[1] 2024年1月15日付の「三菱UFJフィナンシャル・グループの資産運用ビジネスの取り組みについて」は下記リンクをご参照ください。

[https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2024/pdf/news-20240115-001\\_ja.pdf](https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2024/pdf/news-20240115-001_ja.pdf)

[2] 米国居住用不動産の改築・改装に係わる担保付短期ローンを裏付資産としたファンド

<三菱UFJアセットマネジメント 組織図 (2024年10月1日時点) >



以上